

(令和3年10月18日)

< ワンポイントレッスン (理論・基礎知識) >

移動平均線・その3 (ゴールデン・クロス、デッド・クロス)

移動平均線について、その3。今回はゴールデン・クロス、デッド・クロス。長期の移動平均線 (例えばになりますが、以下26週線)・短期の移動平均線 (同13週線) 二本の移動平均線の交差の状態をみての判断になります。13週移動平均線が26週移動平均線を下方から上方に突き抜けた場合をゴールデン・クロス、逆に13週移動平均線が26週移動平均線を上方から下方に突き抜けると、デッド・クロスと呼びます。詳細なパターン判断は別にして、一般にゴールデン・クロスは買いシグナル、デッド・クロスは売りシグナルと言われています。ゴールデン・クロス为例にとれば、直近短い期間で計算した移動平均値の方が長期で計算した平均値より高くなり、強い状態になったことを示すからです。



All Copyright © ゴールデン・チャート社

問題は、株価の動きとの関係。使い方はいろいろありますが、ナベ底から上昇波動への動き、双さ形の天井からの下落の動きなどで有効な場合が多いと感じています。上記の TOPIX のチャートは青線が13週線、赤線が26週線。今回の①.短期線・長期線の交差。前回の②.移動平均線と株価の関係、③.単純に株価だけ…など、ケースに応じての使い分けが求められます。

(了)